

# としょかんだより 第108号



2017年 1月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2017年 2月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

	9:00-20:00		9:00-17:00
	13:00-20:00		13:00-19:00
	休館日		9:00-19:00

## 平成28年度 第1回 図書館茶話会

12月20日 17時より図書館閲覧室にて図書館茶話会を開催しました。

今回使用された茶器は開催時期に合わせた雪の結晶が描かれていて、振る舞われた茶菓子はクリスマスにちなんだ特別製でした。



参加してくれた皆様、  
どうもありがとうございました！！

## 漫画家 岡野玲子先生特集

図書館閲覧室企画コーナーにて「漫画家岡野玲子先生」の特集をしています。

ご興味のある方はぜひ一度手に取ってみてください。

### 特集図書を紹介

#### 陰陽師



夢枕獏先生原作『陰陽師』シリーズを漫画化した作品ですが、途中から独自の展開をみせます。原作小説とは異なる魅力をもった作品です。

#### ファンシイダンス

岡野玲子先生の漫画が原作の映画作品です。大学生の主人公が寺を継ぐために恋人をのこし、禅寺に修行へ。修行僧の青春を描いたコメディ作品です。



### 発行所

〒648-0280

和歌山県伊都郡高野町  
高野山 385  
高野山大学  
図書館閲覧室

T E L : 0736-56-3835

F A X : 0736-56-5590

twitter : @koyasanlib

E-mail

service-lib@koyasan-u.ac.jp

# 与謝蕪村

図書館長 前谷 彰(恵紹)

## 酒を煮る家の女房うちちよとほれた

(句意)

酒の爛をされていて思わず酒を煮るほどに湧かしてしまった。気恥ずかしさにぽっと頬を赤らめた女房の姿を見て、その何とも言えないかわいさに少しばかり惚れてしまったことよ。

(解説)

与謝蕪村は享保元年（一七六一年）に摂津国東成郡毛馬村（大阪市都島区毛馬町）の富裕な農家に生まれ、幼い頃から書画・漢詩文・俳諧を学び、俳諧師であると同時に画家として偉才を放った文人です。

この句は何気ない日常に起こり得る、何でも無い情景を描写しているに過ぎません。真冬の夕餉に、女房は亭主の身体を暖めてあげようと熱燗の準備をしたのはいいのですが、夕餉の支度に気をとられてか、つい酒を煮てしまう。酒の爛に失敗した気恥ずかしさにぽっと頬を赤らめる女房。女房はきっと亭主に気づかれずに、さっさと次の爛の準備に取りかかったに違いありません。亭主の方はしっかりとその光景を見ていたのですが、黙って見ぬふり。何とも身も心も温まる光景だと思いませんか。

亭主は日頃、女房のことをそんなに細かく観察しているわけでもなければ、常に心にかけているわけでもありません。ところが、女房の中に日頃気づかなかった「そそっかしさ」や「不器用さ」を見つけ出した瞬間、それが何とも可愛く愛らしく感じることもある。蕪村は、こんなふうに亭主が女房を少しばかり惚れなおす瞬間を、「家の女房ちよとほれた」と見事に詠み切っているのです。

ここがもし「家の女房ちよいとほれた」ではリズムもゴロも悪いし、「家の女房ちとほれた」ではことばに品格が感じられません。

蕪村は、俳句の題材の聖俗性にこだわらず、聖なるものも俗なるものも、どんなものであっても同じ土俵にのせてしまうだけの懐の深さと広さを持つ、俳諧の巨人であったと言っても過言ではないでしょう。

ところで、皆さんも真冬の夕餉に熱燗をいただく時、蕪村のこの句を思い出して、奥さんに「ちよとほれてた」と来れば、少しぐらいは奥さん孝行ができるかもしれませんね。

